

令和7年度木更津市郷土博物館金のすず協議会 第1回定例会
議事録

- 1 開催日時 令和7年4月26日（土）午後2時00分～3時40分
- 2 開催場所 木更津市郷土博物館金のすず
- 3 出席委員 高崎芳美・立野 晃・山田俊輔・伊東昭雄・中西綾子（敬称略・順不同）
- 4 出席職員 松本明子館長・寺原 進係長・依田あゆ美主査
- 5 傍聴人 0人
- 6 議 事 報告1 令和6年度事業・決算報告について
報告2 令和7年度事業計画・予算について
企画展「浮世絵にみる上総・安房」説明
その他

松本館長： ただいまより令和7年度木更津市郷土博物館金のすず協議会第1回定例会を開催いたします。本日は委員6人のところ5人のご出席をいただいております。「木更津市郷土博物館金のすず協議会運営規則第8条第1項」により会議は成立しております。また、「木更津市審議会等の会議公開に関する条例第3条」に基づき、本会議は一般公開となっておりますが傍聴人は0人です。

それでは会議開催にあたり、立野委員長よりご挨拶を申し上げます。

立野議長： 本日は、令和7年度第1回目の協議会ということで、令和6年度の最終的な事業報告をしていただけたということと、令和7年度事業計画の報告をしていただきますが、ポストコロナが本格的になってきて、各博物館とも事業を積極的に展開しているところですし、学校教育の方では、学習指導要領の改訂に伴い博物館との連携を求められているということもございます。また、博物館を巡る状況ですと、博物館資料の収集・保存の問題がクローズアップされています。当館も加盟しております千葉県博物館協会でも、調査・研究委員会で県内博物館の収集・保存の状況を今集計しているところです。このような中、この郷土博物館金のすずが市民の皆様により積極的に利用していただくとともに、そうした資料保存についても建設的なご意見をいただけてより良い管理をしていただけるようご協力をお願いしております。今日はよろしくお願いいたします。

松本館長： それでは、これよりお手元の会議次第により協議会を進行いたします。「木更津市郷土博物館金のすず協議会運営規則 第8条2項」により「会議の議長は、委員長が行う。」とありますので、立野委員長には議長として、この後の議事進行をお願いいたします。

立野議長： それでは、議長として議事を進めさせていただきます。

報告（1）の「令和6年度事業および決算報告について」事務局より説明を求めます。

松本館長： まず、令和6年度の事業・決算概要をご報告いたします。

令和6年度は、「郷土愛を育む つながる博物館」を当館のスローガンとしてスタートしました。スローガンは木更津市の庁内各課で毎年作っているものです。バックヤードのエレベーター工事のため、資料の運搬に支障があることから例年のような特別展・企画展を開催することはできませんでしたが、常設展の一般観覧が無料になりましたので、休日に家族連れの入館が多く見られるようになりました。

展示につきましては、夏には「変化朝顔」のミニ企画展、新しい試みとしては真冬の旧安西家住宅を会場に、写真パネル展を開催しました。写真パネル展の目標の一つは旧安西家住宅の活用でしたが、博物館本館見学への流れをつくることができ、今後の催し方のヒントを得ました。

また、春の企画展として「浮世絵にみる上総・安房」を3月22日から開催しております。このあとご覧いただきたいと思っております。

教育普及事業につきましては、令和6年度からは、旧安西家住宅に午後職員が常駐することで観覧者が増え、さらに展示解説や環境整備の充実を図り、年間を通して催事に取り組むための下地ができました。

また、生涯学習課主催の「きさらづ市民カレッジ」と連携し、市全体を包括した講座開催に工夫をいたしました。

施設の環境整備につきましては、エレベーター工事に伴い、12月3日から2月10日まで第4展示室から第9展示室を休室いたしました。エレベーターは検査実施期間を経て3月18日から再開いたしました。

また、会議の中でご意見をいただいております公園内の「案内看板」を新調いたしました。

さらに、旧安西家住宅の茅葺屋根についてご意見をいただいた後、強風を受けない程度に周辺の大木の伐採・剪定、下草の除去などを3月に行い、風通しをよくして湿気対策を実施しました。

なお、業務改善としては、施設点検などがありますので、すべてではないのですが、休館日の全職員休業化、見学者説明用マニュアルを作成し説明の平準化、館内職員研修を実施し、情報共有と人材育成を実施しました。

では、続きまして、担当学芸員による報告をいたします。

依田主査： 「展示活動」としましては、第4展示室の浮世絵及び第7展示室の絵画資料の定期的な入れ替えを実施しました。また、令和4年度から館内に Free Wi-Fi が設置されておりますが、第3展示室に市デジタルアーカイブ「木更津の城」にアクセスできる二次元コードを設置することにより、展示品に加え、立体的な画像を見ながらより理解を深めることができるような仕組みをつくっております。また、エレベーター工事のため一部休室にした展示室の説明動画を博物館実習生の課題として制作し、来館者に観ていただいております。

企画展としましては、ミニ企画展「変化朝顔」にて7月19日から8月20日までの30日間で941名の方に玄関前とテラスに並べ育てた変化朝顔を

観ていただきました。

次に写真パネル展「街の風景～懐かしの木更津へようこそ～」と題し、旧安西家住宅を会場に1月11日から2月9日までの26日間で641人の方にご来場いただきました。昭和40年代から平成初期の木更津駅周辺の写真をご覧いただきました。ご来場された家族連れから「木更津市に引っ越してきて3年目、木更津の歴史を知りたくなって訪れた。」「広報で見て来た。懐かしい。」という感想がありました他、「小さい頃に木更津に住んでいて木更津の写真展があると聞いて懐かしくなって来た。」という感想が寄せられています。

最後に、企画展「浮世絵にみる上総・安房」を3月22日～5月6日までの40日間で第5展示室にて開催中です。ご来館された市外の方から「浮世絵が好きで再来館しました。他にも浮世絵が所蔵されているなら見てみたい。」「企画展のために参りました。」という感想をいただいています。3月29日にはワークショップを開催し、ポストカードに様々な色のインクを使って色々なデザインのゴム印を押していくことで多色刷りの疑似体験をしながら思い思いの作品を作っていただきました。作品は第5展示室でご覧いただけます。実施事業につきましては以上でございます。

寺原係長： 続きまして、「調査活動」について説明いたします。

ミュージアムサポーターに一部協力をいただき、写真パネルの整理及び台帳作成を行っております。また、市内の個人宅及び社寺所蔵資料の調査を実施しております。

次に「資料管理」につきましては、エレベーター工事に伴い、本館2階倉庫の整理を実施しております。寄贈資料の受入に関しましては、7件対応いたしました。寄贈を受けた五月人形につきましては、現在、端午の節句にあわせて旧安西家住宅に展示しております。寄託資料に関しましては、新規のものはございませんでした。

次に「環境管理」につきましては、温湿度計による管理の他、捕虫トラップを用いた環境調査を行っております。建物管理に関しましては、本館エレベーターの改修工事などを実施しております。

次に「教育普及活動」について説明いたします。

博学等連携事業に関しましては、博物館実習を8月下旬の6日間に実施いたしました。学生6人を受け入れ、実習課題として勾玉作り教室の運営、展示紹介動画の制作に取り組んでいただきました。動画は博物館の職員が再編集し、当館のエントランスにてデジタルサイネージ発信をしております。エレベーター工事に伴う休室部分にあたる江戸時代の展示の概要を紹介する内容となっております。

職場体験では、9月に市内の中学2年生2人を受け入れ、資料の展示替え等に取り組んでいただきました。

講師派遣では、高等学校等から派遣依頼があり、講座を行いました。

学校などの団体見学では、29団体1,256人の見学を受け入れまして解説等を行いました。このうち小学3年生につきましては、市内12校692人の児童に、旧安西家住宅にて、ガイドボランティアの協力の下、かまど、石臼、いろり、行灯の体験を提供しております。

資料の貸出等に関しましては、博物館資料の熟覧等31件の特別利用がございました。また、国立歴史民俗博物館等の6団体に「千葉県金鈴塚古墳出土品」等の資料貸出を行っております。

資料の借用では、令和5年3月から令和6年5月にかけて開催していた企画展「古墳時代の謎の木の道具たち」において、本市文化課から考古資料を借用しております。

博物館の公式Xに関しましては、当館の情報等を発信しております。フォロー数は、令和7年4月20日時点で377人となっており、令和5年度と比べて70人程増えております。

主催事業の講座等に関しましては、郷土文化伝承体験講座では、12月に正月飾り作り教室、2月に西上総の味噌作り教室を実施し、合計33人の方に参加いただきました。

きさらづ歳時記では、旧安西家住宅にて、端午の節句、七夕、十五夜、ひな祭りにあわせて、鯉のぼり、笹飾り、ススキ、ひな人形等を展示しております。合計991人の方に来館いただきました。

夏休み体験講座では、博物館実習の一環として、勾玉作り教室を実施し、7人の方に参加いただきました。

古文書講座では、7～12月に毎月1回、外部講師をお招きし、館蔵史料等を用いて、入門・初級・中級編各2回、計6回を開催し、それぞれ20人前後の方に参加いただきました。

地域学講座『木更津風土記』では、11月、1月、3月の計3回講義形式で行いました。各回30人前後の方に参加いただきました。11月は平安時代、1月は江戸時代の書籍の流通、3月はかずきDNA研究所と連携して実験も交えての太田山公園のソメイヨシノ開花日予想について実施いたしました。

旧安西家住宅の利用状況に関しましては、施設使用料を伴う利用が3回ありました。

その他協力事業等に関しましては、本市オーガニックシティフェスティバルに文化課と共同出店し、博物館紹介や昨年9月に市指定文化財に指定された「マミヤク遺跡出土子持勾玉」のパネルを展示しました。

依田主査： 続きまして、友の会の活動につきましては、会員45人、定期総会1回、役員会4回、移動研修1回、会報第28号発行、サークル紹介展1回を実施いたしました。

次に、きさらづ文化財ガイドボランティアの会につきましては、年間280日間活動をいただきました。来館者2,508人に対してガイド延べ977人、

定期総会1回書面開催、役員会5回、移動研修1回を実施しました。令和5年度から午前の活動となっております。

次に、ミュージアムサポーターにつきましては、写真パネル整理等、5人の方に活動いただきました。

松本館長： 続きまして、入館者の推移をご報告いたします。

令和6年度の利用者総数は、1万2,989人で、令和5年度に比べて2,336人増加しており、令和6年度から常設展の一般入館料が無料になった効果があったかと思われます。各年代層で入館者数は増加しております。

続きまして、令和6年度の決算についてご報告いたします。

歳入につきましては、予算額24万4千円に対し決算額21万2千円です。主に旧安西家住宅の使用料、図書等売払となっております。

歳出につきましては、予算2,507万9,909円で、令和5年度に比べて705万1,789円増加しました。エレベーター工事に伴う棚の撤去、人件費・業務委託料の増額が主な増加要因となっております。以上です。

立野議長： それでは、事務局から説明がございましたけれども、ご意見ご質問等がございましたらお願いします。

企画展等の感想をいくつかご紹介いただきましたけれども、会場で感想文はどのように回収しているのですか。

依田主査： 展示の最後にアンケートのコーナーを設けておまして、企画展の感想をピックアップしてお伝えしました。旧安西家住宅の感想につきましては、職員が旧安西家住宅に常駐している際に来館者との会話の中で感想をいただいたものをまとめさせていただきました。

立野議長： 来館者との会話は大事にさせていただきたいと思います。それから、勾玉作りの体験ですが、大人が対象でしょうか。毎年やっているものですか。

寺原係長： 小学3～6年生が対象で、毎年、博物館実習の一環として実習生に運営いただいているものです。

立野議長： 夏休み前に学校に知らせて募集するとかかなり効果はあります。2部制にしている、午前と午後に分けて開催している博物館もあります。

また、講師派遣ですが、博物館だけではなく、文化課を含めて講師派遣に対応できるような体制を作ることが良いのではと思います。いかがでしょうか。

松本館長： 生涯学習課が主催する「きさらづ出前講座」という事業があります。令和7年度では、出前講座としてテーマを三つ程に絞り込んで、当館の学芸員がテーマに沿って派遣依頼を受けることを考えております。

立野議長： 千葉県文書館がそのような方式です。年度当初に学芸員がこの内容ならばすぐに対応できるテーマを提示するのは良いと思います。

立野議長： 他にございますか。

高崎委員： 金鈴塚古墳に関する講座・講演会は、今後どういう方向になっていきますか。

松本館長： 令和7年度は「きさらづ出前講座」の中に金鈴塚古墳をテーマとして設けてお

りますので、そちらの中で対応したいと考えております。

高崎委員： 出前講座というのは、博物館から出かけて行くのですか。

松本館長： はい。また、生涯学習課の主催事業である「きさらづ市民カレッジ」にて、令和7年度は年間7回程講演会が予定されており、周辺地域の歴史を織り交ぜた話などもテーマの中には入ってまいりますので、市全体の包括的な連携事業という形でとらえ、生涯学習課や文化課と連携し、進めております。

高崎委員： 以前、国立歴史民俗博物館との連携がありましたが、金鈴塚古墳出土品の国宝化については、今どうでしょうか。

松本館長： そちらについては、担当が文化課になります。文化課と連携する形で、進んでいきます。

立野議長： 他にございますか。

それでは、続きまして、報告2の令和7年度事業計画及び予算について事務局より説明をお願いします。

松本館長： 令和7年度事業計画及び予算の概要について説明いたします。令和7年度のスローガンは「郷土愛 羽ばたけ未来へ 金のすず」といたしました。市民の皆様には博物館で木更津の歴史等を知っていただいて郷土愛を育てていただくという思いを乗せたスローガンにいたしました。事業の概要といたしましては、2年振りの特別展等、例年の事業展開を計画しております。

施設管理につきましては、館内の防犯カメラの老朽化に伴う更新、燻蒸用のビニールテントの修繕、旧安西家住宅の畳と襖の修繕、さらに文化課予算による新収蔵庫の燻蒸をいたします。資料の保管・管理では、資料整理を長期的計画的に引き続き進めていく予定です。

広報につきましては、市ホームページや SNS 等、様々な媒体で引き続き実施してまいります。

なお、グッズ販売として、3種類の「アクリルピンバッチ」を予定しています。

依田主査： 環境整備につきましては、捕虫トラップの設置等を引き続き行う他、8月に新収蔵庫の燻蒸を実施予定です。

資料の保管・管理につきましては、収蔵庫・展示室の環境管理では、浮世絵等の脆弱な資料については定期的に展示替えする予定です。借用・寄託・寄附資料の受入では、更新手続き2件に対応しております。また、資料の貸出・特別利用、図書の入館料については、特別展の会期中は有料とし、一般300円で考えております。

寺原係長： 展示事業につきまして、説明いたします。

特別展では、弥生時代を中心に木更津や周辺地域について見ていきます。市指定文化財に近年指定された中越遺跡出土小銅鐸の紹介等を予定しております。期間は、10月下旬から12月上旬、場所は、博物館本館の第4・5展示室を予定しております。また、旧安西家住宅にて関連するサテライト展示として、写真パネルの展示を考えております。入館料については、特別展の会期中は有料とし、一般300円で考えております。

企画展では、令和7年は戦後80年にあたるため、夏の企画展として、7月下旬から8月にかけて、主に館蔵の戦争関連資料を展示する予定です。場所は、第5展示室を予定しております。次に、春の企画展として、3月下旬から5月初旬まで、俳優の中尾彬氏が所蔵していた絵画の展示を考えております。

旧安西家住宅を会場にした写真パネル展については、6月中旬から7月初旬まで「懐かしの学び舎」というテーマで開催を予定しております。木更津市を中心に近隣市の学校等の写真パネルを展示する予定です。

デジタル博物館では、デジタルアーカイブにアクセスできる二次元コードの展示室への設置を進めてまいります。また、本市まなび支援センターとメタバース空間を活用してオンラインによる展示解説等を検討しております。

依田主査： 教育普及事業につきまして、説明いたします。

出前授業講師派遣では、公民館や学校への講師派遣等について事業の周知をいたしました。

博物館実習では、現在3人の申し込みがあり、8月下旬に実施予定です。

主催事業等では、郷土文化伝承体験講座として、機織り、正月飾り作り、味噌作りの講座を開催予定です。

古文書講座については、6回開催予定です。

地域学講座『木更津風土記』については、7月にかずきDNA研究所による変化朝顔の講座、8月に夏の企画展にあわせた講座を開催予定です。

きさらづ歳時記では、例年通り、端午の節句、七夕、十五夜、ひな祭りを予定しております。

松本館長： 続きまして、令和7年度予算について説明いたします。

歳入は61万6千円でございます。特別展観覧料と博物館グッズ「アクリルピンバッチ」販売分が増額しています。

歳出では、博物館管理運営費は予算額3,140万2千円で、令和6年度に比べて375万5千円の増額となっております。防犯カメラの更新等の費用や人件費・物価の高騰によるものです。

博物館特別展事業費は、予算額324万6千円です。2年振りの開催ですが、2年前の予算から24万5千円減額となっております。

以上が令和7年度の事業計画・予算説明となります。

立野議長： ただいま、事務局から説明がございましたけれども、何か質問がありましたらお願いいたします。

高崎委員： 弥生時代の特別展では、目玉となる資料はありますか。

寺原係長： 目玉となる資料は、市指定文化財に指定された小銅鐸です。

高崎委員： もし可能ならば、この上総地域には、小銅鐸が結構集中して出ていますね。全部まとめて同じ場所を見たことは一度もないのですが目玉になるかなと思います。

寺原係長： 近隣市からお借りしようということは考えております。

立野議長： 他にいかがでしょうか。

山田委員： 木更津から出ている小銅鐸はやはり一つ目玉ではあるので、小銅鐸を中心にしながら、木更津は北からも西からも文物がやって来る場所だったのだというような資料選定の仕方をして良いのかなと思います。何を伝えたいのかメッセージを明確にして、木更津の弥生時代ってどんな時代かがわかる内容にさせていただけたらと思います。ちょっと木更津ビイキになっても、木更津ってやっぱり素敵な場所だなんて思えるような見せ方があっていいのではないかと思います。

立野委員： 時間が限られていますが、ご検討ください。他にありますか。

中西委員： 写真パネル展「懐かしの学び舎」は、小学生の生活背景の説明はありますか。

寺原係長： 展示スペースが有孔ボード2枚のため、解説を多く書けませんので、簡単なキャプションという形で各写真を紹介する予定です。

中西委員： 地域の子どもの生活と教師とのこの温かな絆という中で、細かい詳しいことがあるようでしたら、私の勤務する学生たちの学びになるなら、ぜひ広報したいと思います。

立野委員： よろしいでしょうか。ではこのあと、企画展を見ます。

松本館長： 依田が説明いたしますので、ご移動をお願いします。

出席者一同企画展「浮世絵にみる上総・安房」第5展示室を見学

立野委員： では企画展の感想をいただきたいと思います。

伊東委員： 入館者が増えたことは誠に喜ばしいことだと思います。企画展をしていくうえで、メッセージ性やストーリー性を兼ね備えたこれは面白そうだなって思わせるような企画展をこれからもたくさんやっていただけたらと思います。

中西委員： 素晴らしい展示でした。おそらく来館者は木更津に土地勘のある方が多いと思いますので、浮世絵とその場所の現在の写真を比較したパネルがあり、身近な「あれ」が「これ」だとわかるのが楽しいと思いました。ただ、あの大きさのパネルでは小さくてもったいないと思いました。それから、先程ご説明いただいた、斜台で展示していた北斎の作品は、とても脆くて貴重なものであるから、壁ではなく斜台で、みんなが見やすいようにという、その貴重さとかのお話が学芸員では当たり前かもしれないのですが、素人から見たら、それが脆いこと自体も、知ったら「ああそうなのだ」という博物館に来て聞いた話ということになります。それから、もう一つ、ワークショップで押したスタンプがありました。3回押すと出来上がりになるのは面白いなと思いました。大人にも人気があって、ワークショップだけではもったいないと思いました。

立野議長： 北斎の絵ってというのは、紙自体の劣化ですか、それとも退色ですか。

依田主査： 主に退色です。長く作品を維持保管していくために、照明の明るさを抑えたり展示期間を区切ったりして展示しています。

立野議長： 一般の方には、わからないでしょうから、退色が進まないよう限定的な期間の

展示であることを一言伝えると良いのではないのでしょうか。

中西委員： 教わることによって、その資料がとても貴重なものだと思うことは、とても楽しいなと思います。

立野議長： 今回の比較ですが、写真展示をしていると必ず今はどうなっているかと言われます。浮世絵も一緒だと思うので、できるだけ今のところと比較できるような工夫は、この後の写真の展示もあるでしょうから、考えていただけたらと思います。

浮世絵を約350点お持ちだということですが、今回精選して出したとは思いますが、開催地区の上総・安房の作品は他にもあるのですか。また、下総のものはいかがでしょうか。

依田主査： 木更津のものでと、切られ与三ですとか、定方塊石画「富士見六景」が木更津に直接ゆかりのある作品となります。かつての千葉県立上総博物館が、昭和46～48年の3年間と昭和50～60年くらいの間の上総地方に所縁のある浮世絵を購入しています。今回はその中から選んでいます。他に下総の作品もあります。

立野議長： 例えば、ミニ展示みたいな方法で短期間ずつコーナーを設けて少しずつ紹介していくということがあっても良いと思います。今進めているデジタル博物館で、おそらくこれが目玉の一つになると思いますし、ぜひ小学生・中学生に江戸時代から明治初年の木更津はこんなところだったのだということを言葉で言うよりも見てもらった方が非常に良いと思いますので、ぜひ学校で利用できるように考えていただけたらと思います。

他に質問はございますか。無いようでしたら、進行役をお返しします。

松本館長： 本日皆様には、ご多用のところご出席をいただきまして誠にありがとうございました。

これをもちまして、令和7年度木更津市郷土博物館金のすず協議会第1回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。